



会報

vol.139

2013年6月

KOMAGANE LIONS CLUB

会長スローガン

「絆を大切に・地道な奉仕」

自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety
(L) (I) (O) (N) (S)

会長基本方針

(2012.7 ~ 2013.6)

1. 環境保全事業の推進
2. 青少年健全育成事業
3. 例会100%出席の実現
4. 献血（三献）運動の推進
5. 会員維持、並びに会員増強

駒ヶ根ライオンズクラブ会報 第139号

■発行日/平成25年7月5日 ■発行者/駒ヶ根ライオンズクラブ 会長 L.池上勝洋 ■編集責任者/PR・IT委員長 L.橋田利雄
■事務局/駒ヶ根市上穂栄町3-1 駒ヶ根商工会館4F TEL.0265-83-7806 FAX.0265-83-8386
■制作・印刷/株宮澤印刷



駒ヶ根ライオンズクラブ結成50周年記念事業
電気自動車贈呈式

2013.4.26 駒ヶ根市へ「リーフ」を贈呈

334-E地区 1R2Z



駒ヶ根ライオンズクラブ

【役員退任挨拶】



会長
L.池上 勝洋

御協力に感謝とお礼

一年間会員の皆様には多大なるご協力を頂き、会長職を無事終えることが出来ますことに心より感謝申し上げます。

スタート段階では、私に会長が務まるのか非常に心配でしたが、幹事、会計、会員の皆様に助けられ、年間のスケジュールを無事終了することが出来ました。

ガバナー公式訪問を1R2ZのホストクラブとしてZC・L. 浦野英喜のご指導のもと無事終了し、全体クリーン事業ではスポーツ少年団含め579名に及ぶ多数の出席を頂き大成功で終了いたしました。

日本フィリピン合同医療活動に9名の参加があり、熱心に奉仕活動を行いました。

LCIFに6名の基金を頂き感謝申し上げます。また、献血奉仕活動には、保健奉仕委員会を中心に全委員会が担当して、年間446,600mlの献血が出来ました。

次期に創立50周年記念事業を行うにあたり、平成12年10月にはクラブ役員、理事大会役員も決定し、11月には元会長会を開催し、着実に周年事業に向け歩みを始めております。

この一年間様々な事を学ばせて頂き又、大変充実した一年でありました。皆様のご支援にお礼申し上げます。

終わりにあたり、創立50周年記念事業の成功と益々のクラブ発展及び会員各位のご健勝とご多幸を祈念致しまして退任の言葉とさせていただきます。



幹事
L.宮下 厚

退任の挨拶

池上会長、下澤会計、それに事務局員の塩澤さん一年間本当にありがとうございました。また、理事、各委員長、メンバーのみなさん、いたらぬ幹事で何かとご迷惑をおかけしたと思いますが、何とか一年間無事に幹事の大役を果たすことが出来ました。継続事業の全体クリーン事業には大勢のスポーツ少年団のみなさんに参加していただき、4か所の清掃奉仕活動が出来ました。各事業アクティビティ、各委員会活動に対して、委員長を中心として、メンバー全員で協力していただき事業が無事出来ました事に御礼、感謝申し上げます。また、8月には駒ヶ根クラブ担当で、地区ガバナー公式訪問があり司会の大役を仰せつかり大変光栄に思っています。その時にはメンバーのみなさんには大勢参加協力くださりましてありがとうございました。メンバーのみなさん一年間本当にありがとうございました。今年11月には50周年記念式典があります。メンバー全員で成功させましょう。



会計
L.下澤正一

一年間お世話になりました

去年の7月にクラブ会計をさせて頂き早くも1年経ってしまいました。

1年のうちに日本フィリピン合同医療奉仕、献血奉仕、茸の採集等々楽しく活動させて頂きよい経験をさせて頂きました。

未熟な会計でしたが無事退任する事が出来ました。これも先輩諸氏、クラブメンバーの後押しのおかげと思ひ感謝いたします。誠に有難うございました。

感謝 感謝



1R2Z.ZC
L.浦野英喜

退任挨拶

1R2Z.ZC兼1R、Rリーダーとして身に余る大役をお引受けし一年間、各位の御協力により大過なく退任出来ました事に、心より御礼と感謝を申し上げます。

山下ガバナーの基本方針のもと各LCへのパイプ役としてライオニズムの向上に微力ながら務めてまいりましたが、各LCの御協力なくして遂行出来なかった事であり感謝の一言であります。特に駒ヶ根LC各位には会長L始め多くの方々に諸、ホストクラブとしての御協力、御指導を賜り重ねて厚く御礼を申し上げます。1R2Z6LCは本年度多くの実績を残されました。因みにグッドスタンディング賞は県下6本中4本受賞。特に駒ヶ根LCは県下1本のみの金賞に輝き最優秀の成績を残されました。

この事も駒ヶ根LC50年に渡る諸先輩の築かれた実績を基に各位の日常の活躍の賜と心より敬意を表する所であります。

駒ヶ根LCの今後益々の発展と各位の御健勝を御祈念申し上げ、挨拶と致します。

【役員退任挨拶】



1R PR・ライオンズ情報委員
L.横山信之

退任にあたり

1R. PR. ライオンズ情報委員に任命され、一年間が経ちましたが、その間会報「ライオン信濃」の発行に携わり、会報への広告等でメンバーには、大変お世話様になりました。また、年間通してのレポート提出にあたり、三役、特にPR・IT委員長さんには、大変御協力いただき、感謝申し上げます。

皆様方の御協力で、一年間大過なく勤める事が出来ました事に感謝申し上げます。退任の挨拶と致します。



第二副会長
L.宮澤 宏彰

一年間ありがとうございました

本年度第二副会長として、会長の基本方針に基づいて、保健奉仕、YCE、環境保全を担当させて頂きました。各委員会とも事業活動がうまくいき、各委員の自覚した活躍に感謝申し上げます。ありがとうございました。



L.テーマー
L.林 喜之

一年を振り返って

準備をして例会に臨み、時間厳守、スムーズな進行に心がけてまいりましたが、思うようにいかずに皆様には大変ご迷惑おかけいたしました。

例会担当委員会の皆様をはじめ、講師の皆様には、大変せわしい時間の中での講演にご協力いただき、ありがとうございました。

役員、メンバーの皆様のご御理解、御協力で、何とか一年間大役をはたすことが出来ました。感謝申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。



第一副会長
L.田中 一正

ご協力に感謝

会長スローガン「絆を大切に、地道な奉仕」に基づいた奉仕活動が行われ、年次大会においてグッドスタンディング（金賞）を始め5部門での表彰に輝いた三役、各委員会に敬意と感謝を申し上げます。

会長、幹事、会計役員の皆様には、今年度は結成50年を経過した記念すべき年にあたり節目の事業が時代に反映された形でスムーズに運べるよう取り組んでいただき感謝を申し上げますと同時に次年度での一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



第三副会長
L.林 茂男

退任の挨拶

本年度会長の基本方針「絆を大切に・地道な奉仕」のもとに、出席委員会とPR・IT委員会を担当させて頂きましたが、各委員長さんを始め各委員の皆様のご努力のお蔭をもちまして、一年間無事に終わる事ができました。ご協力に感謝を申し上げて退任の挨拶とさせていただきます。有難う御座いました。



テールツイスター
L.池上 博康

ご協力ありがとうございました

テールツイスターとして、活気ある演出ができたかどうか、その評価は皆様に委ねるところですが、一年を終え、自分らしく務めることができたものと思っております。お陰様で目標を達成することもできました。メンバーの皆さまのご協力の賜です。ありがとうございました。加えて、テールの時間づくりにご配慮いただいたL. テーマーのL. 林喜之そして、副テールツイスターのL. 堀澤豊に感謝申し上げます。皆様にも多々失礼のあったことにお詫び申し上げ、結びとします。感謝。

委員長退任挨拶

委員長 L. 横山 信之
副委員長 L. 吉澤 正敏

会員マール委員会 御協力に感謝

会員委員会での一番大きな任務は、会員増強ですが、計画通りの入会数に達せず、結果的にはメンバー数が減少となり、残念に思っております。

メンバー維持・増強については、他クラブも悩んでおり、家族会員への方向も進んでいるクラブもありますが...

来期は50周年事業もありますので、一致団結し大成の裡に終わることが出来ることを願いつつ、感謝・お礼の言葉と致します。

委員長 L. 下村 明
副委員長 L. 小林 富夫

計画委員会

計画委員会を担当してみて感じた事

LCの事業については、各委員会で十分検討して各委員会の特徴とアイデアで今年の事業が無事終了しました。メンバーの年齢の若かパートナーの奥様の参加が年々と少なくなり、いろいろ知恵を出していただきましたが、参加が少なく誠に残念です。

先日、当委員会の打ち上げを行いました。メンバー8名で各奥様8名全員参加して頂きまして16名にてフランス料理のフルコースをいただきました。皆様大変喜んでいただきました。当委員会のクリスマスパーティーの料理も何時もより違う料理でしたが参加者が少なかった。クリスマスのど自慢の大会を新しく計画して実行しました。もう少し改革が必要かもしれませんが次の委員長さんに...以上

委員長 L. 武田 三郎
副委員長 L. 井口 美義

YCE委員会

一年間大変お世話になりました

昨年の7月には、初の委員長という事で、色々心配しておりましたが、委員会の方々やメンバーの方々に、適切なアドバイスを頂き、至らない点も多々あったとは思いますがなんとか責務を果たす事が出来たかなと、ホッとしている所です。ライオンズ旗争奪トリック大会では、

執行部の考えた1チーム当り1ダースの贈呈が大変喜んで頂いた訳ですが、年々減少するチーム数に、日本の将来が垣間見られた様な気がします。1回目の担当講師例会では、井口副委員長に会員卓話をお願いしましたが、時間が少なく残念でしたので、次の機会に十分な時間の中でやって頂けたらと思います。2回目は、海外協力隊所長、仁田様に講演頂く事が出来、ブータンという国の素晴らしさを知り感動したのは、私だけではなかったと思います。一年間、大変ありがとうございました。

委員長 L. 小田切 三子
副委員長 L. 竹内 寿一

出席委員会

一年間ご協力ありがとうございました

「時は金なり」時間はお金のように尊いもの。この貴重な時間をさいて、月2度の例会に自覚をもって出席される会員の皆様、の姿を拝見し、頭のさがる思いと、このクラブに居られることの誇りさえ感じながら、会員カードに〇印の印をおささせていただきました。

またお客様をお招きして、実施されるビッグイベントである茸狩り例会では、茸不作の季節であったにもかかわらず、団結力によって盛大におこなうことができ会員同士の絆の深まりを感じさせていただきました。この素晴らしいお仲間、ふれあうために、今後、例会100%出席は当たり前のご協力ありがとうございました。心より感謝いたします。

委員長 L. 桃澤 克芳
副委員長 L. 山越 信治

財務委員会

一年間お世話様になりました

財務委員長として、恙無く無事任期を満了する事が出来ました事は一重に会員各位のご理解とご厚情の賜と改めて厚く御礼申し上げます。新政権発足にも関わらず、日本を取り巻く環境は、いまだかつて無い厳しさが続いております。先が見えず停滞感が増してきている中、駒ヶ根ライオンズクラブは、本年度も事業計画に沿った予算の執行も、先輩の方々のご指導、ご協力を頂きながら、ほぼ計画通りの実績で終了する事が出来ました。

有難う御座いました。又、任期中は、不慣れな為多々ご無礼な点もあったかと思っておりますが、ご容赦頂ければ幸甚に存じます。

改めて会員各位のご協力に感謝申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。

委員長 L. 伊藤 政文
副委員長 L. 宮下 兼秋

保健奉仕委員会

ご協力に感謝

保健奉仕委員会の主要事業である献血推進奉仕活動は、当初計画しました日程の変更もあり、参加いただきましたメンバーの皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、全メンバーの参加、ご協力を頂き当初の目的を達成し大いなる成果を上げることが出来ました。また、8月と2月の担当例会には駒ヶ根市高齢者支援センターの保健師、ケアマネージャーに講師をお願いし、健康づくりの動機づけと介護サービスについての講演を頂きました。わかりやすく身近な問題に、会員の皆様も有意義な時間を過ごせたものと思います。ご協力頂いた委員会メンバー及び、会員各位の熱意に感謝いたしますとともに、この一年間本当に世話になりました。

委員長 L. 松岡 宅吉
副委員長 L. 野村 肇

環境保全委員会

環境美化の実践ができました

初めての委員長、皆様の協力により一年間ありがとうございました。

環境美化は、主に全体クリーン事業という大きな行事がありました。昨年は雨天で中止になってしまい残念でしたが、今年は最高の天気にお恵まれ、又予定以上の参加人数で驚きました。駒ヶ根駅前、菅の台、そして一番の千寿園での草取りが綺麗にできて、感謝するばかりでした。各種スポーツ団体の子供達も汗をいっぱい流している姿を見て身に余るものがありました。

中央アルプスの山頂美化清掃奉仕活動への参加ですが、ライオンズクラブでは、私とL.小澤禮治の2名での参加でした。秋の紅葉が残る中でのゴミ拾いでしたが、思ったよりゴミが少なく驚きました。登山者のマナーの良さですね。楽しく参加させて頂きました。皆様有難うございました。

委員長 L. 黒田 利雄
副委員長 L. 木下 昌明

PR・IT委員会

皆様に感謝

初めての委員長でしたので不安だらけでのスタートでしたが、副委員長さん、担当副会長さん始め、委員の皆様、さらに役員並びにメンバーの皆様のご協力により何とか1年間の任期を終えることができました。各アクティビティ等の取材を通じてライオンズクラブの活動が少しずつですが理解できるようになりました。本当に勉強になった一年でした。ありがとうございました。

1 献血推進奉仕活動

【本年度の献血量 37会場 1,186名 446,600ml】

今年度献血推進奉仕活動は、委員会メンバーはもとより全メンバーのご協力により、大変充実した活動を行う事ができ、当初の目的を達成できたものと思います。ご協力をいただいた企業、また献血をしていただいた皆様に感謝するとともに、私達もこの献血推進奉仕活動を通じて、社会に役立っているのだなと実感できる1年でした。まだまだ血液が不足している現状において、さらに積極的に継続してこの活動を行い社会貢献していく必要性を感じました。1年間ご協力を頂き、大変お世話になりました。



3 50周年記念アクティビティ電気自動車の贈呈

4月26日(金)に50周年記念アクティビティとして駒ヶ根市に電気自動車を1台寄贈しました。当クラブの基本理念でもある環境保全の目的として寄贈した日産「リーフ」は、1回の充電で約200キロの走行が可能です。爽やかなアクアブルーの車体の両サイドには「地球にやさしいまち KOMAGANE CITY」という文字が入り、ナンバープレートも「50」です。

市役所玄関前で行われた贈呈式には会員約70名が出席し、50周年記念大会会長のL.田中一正の挨拶のあと、杉本幸治市長へ目録と自動車キーが贈呈されました。杉本市長からは「太陽光発電、水力発電に積極的に取り組む当市の市長公用車として大切に使用させていただく。」というお礼の挨拶がありました。



5 赤い羽根共同募金 感謝状贈呈式

5月7日(火)に駒ヶ根市役所において、赤い羽根共同募金に対する感謝状の贈呈式が行われました。当クラブからは、会長 L.池上勝洋、幹事 L.宮下厚、会計 L.下澤正一の3名が出席しました。杉本市長から池上会長へ感謝状が授与され、続いて市長より「震災後共同募金も金額が減ってしまった時期もあった。その中で駒ヶ根ライオンズクラブは多額の浄財を長年にわたって寄贈されている。感謝申し上げます。」という言葉を送りました。



2 第38回日本・フィリピン合同 医療奉仕活動に参加

2月8日(金)～2月11日(月)の日程で行われた奉仕活動に、当クラブからはL.池上勝洋、L.宮下厚、L.下澤正一、L.林茂男、L.浦野英喜、L.堀内寿雄、L.小池強、L.林喜之、L.橘田利雄の9名が参加しました。8日に結団式を行い、9日はケソンシティ、10日はリザール州カインタで医療奉仕活動を行いました。当クラブは歯科を担当し、患者の誘導、抜歯の際の頭の固定、器具の洗浄、薬の配布などを行いました。両日とも高温多湿のなか終始立ち仕事で大変でしたが、現地のライオンズスタッフとの共同作業や休憩時の子供たちとのふれあいを通してライオンズクラブが国際的な奉仕団体であることをダイレクトに実感した4日間となりました。クラブメンバーのご協力に感謝致します。



4 茸のほだ木植え付け作業

4月28日(日)に茸のほだ木種駒植え付け作業を行いました。10名のメンバーが朝9時に出席副委員長のL.竹内寿一宅に集合し、ドリルでほだ木に穴を開けハンマーで種駒を打ち込んでいきました。植え付け作業終了後、おいしいお茶とお菓子で一休みし、その後L.林喜之の山へほだ木を運び、山中に設置をしてきました。秋の収穫が楽しみです。



6 クラブ対抗ゴルフ大会

去る、4月14日(日)松本浅間カントリークラブにて、第59回地区年次大会クラブ対抗ゴルフ大会が実施されました。北アルプスを望む丘陵で、自然のアンジュレーションを生かした戦略性の高い、頭脳的なゴルフ場です。

当クラブよりゴルフ好きの腕に自信のあるメンバー8名がエントリーしました。晴天で気温26度の中、暑さ、スコアと闘いながら、今日こそは頑張るぞとスタート、気を行く他クラブのプレーの遅さに、イライラ、カッカしましたが、皆年の冷静にプレーを行い、ハーフ終了昼食時にスコアチェック、上位入賞出来るかも期待も高く、午後も頑張る気力十分でスタート、暑かった午後も無事終了、スコア表を提出3位以内は確実と信じ帰ってくる。他クラブとの接点のない親睦も無い単なる成績のみの対抗ゴルフでした。成績は後日、地区大会での発表。発表された成績は団体戦で準優勝、個人の部及びシニアの部で、L.池上勝洋が見事優勝を勝ち取りました。来年度は団体、個人で優勝を狙いたいものです。

参加チーム
Aチーム L.池上勝洋 L.堀内寿雄 L.田中一正 L.木下昌明
Bチーム L.下平文隆 L.吉澤正敏 L.井口美義 L.桃澤克芳

例会報告

平成25年2月1日(金) **講師例会** 講師：(財)中部公衆医学研究所 保健師 白木 友里 様

テーマ「お酒と上手に付き合う方法」

アルコールの基準量は純アルコール量で1日20gまでとされています。これは、ビールだと(中瓶)500ml、日本酒だと1合です。二日酔いにならない方法としては、処理能力の中で飲んでいただければと思います。1日の処理能力が60gなので、ビールなら500mlビンで3本、日本酒なら3合程度までなら次の日に元気に仕事ができると思います。飲み方次第でプラスにもマイナスにもなるのがお酒です。お酒に飲まれないよう、おいしく楽しくお付き合いをしていただければと思います。



平成25年2月15日(金) **講師例会** 講師：ケアマネージャー 伊藤 真咲 様
 駒ヶ根市役所 猿田 孝弘 様

テーマ「介護サービスを受けるには」

家族に介護が必要となったときには、高齢者支援センターへ来て下さい。介護認定は要支援1、2～要介護1～5まであって要介護5がより重度な方、要支援1、2は軽度な方になります。介護の基本は家族です。家族のできることで制度で行ってしまえば、家族の絆まで希薄になってしまうからです。しかし、困ったこと等がありましたら、窓口へ来て下さい。私たちが必要なところへ連絡を取り解決できるよう動きます。皆様にも是非名前を覚えてもらい何かあれば声をかけていただきたいと思います。



平成25年3月1日(金) **会員卓話** L. 中坪 宏明

テーマ「駒ヶ根市議会報告」

平成23年9月から20回の会合をもって行っている議会改革についてお話しさせていただきました。
 ①議場に国旗と市旗が掲揚されたこと。②議会報告会を3回行ったこと。③議会での一括質問を一問一答方式に変えたこと。④理事者に向かって質問をするようにしたこと。⑤議員研修会を今までに19回開催していること。⑥議会日より更に読みやすくするよう勉強していること。⑦議長席の横にモニターを設置したこと。続いて今年度の予算等についてわかりやすく説明をしていただきました。



平成25年3月15日(金) **会員卓話** L. 小田切 さち子

テーマ「認知症・正しく知って上手に付き合う」

認知症は心の病気ではありません。認知症は体の病気です。認知症の人への対応の基本的な姿勢ですが、認知症による機能低下があることを正しく知ることが大切です。認知症の方への対応ですが、①驚かせない②急がせない③自尊心を傷つけない、この三つを守って下さい。認知症になると家族も大変になってきます。最後に、樋口一さんという方が、親愛なる子供たちへというお手紙を書いておられますのでこれを読ませていただいで終わらせていただきます。



平成25年4月19日(金) **会員卓話** L. 佐々木 祥二

テーマ「県政報告会」

平成24年に第90代長野県議会の副議長ということで1年間お世話になりました。最初軽い気持ちで受けたのですが、一年間やって3月18日にほっとしたというのが本当の気持ちです。議会というところは封建的などころでして、委員会室や知事室などに行くときは必ず一番前に書記がいて次に議長、次に副議長、最後に副議長の書記、この4人が一列になっていくというような副議長時代の裏話をさせていただきました。続いて市議会、県議会の仕事についてわかりやすく解説していただきました。



平成25年5月10日(金) **講師例会** 講師：青年海外協力隊訓練所 所長 仁田 知樹 様

テーマ「世にもユニークな国ブータン」

ブータンは、面積が九州くらい、人口が島根県とほぼ同じの70万人の小さな国です。こんな小さな国が、中国とインドという大国に挟まれながら独立を保っていることが奇跡であること。王様が言い出して民主化をしたこと。GNH(国民総幸福)という考え方を政策に取り入れていること。チベット仏教を国教とする世界で唯一の国であること。その他、ブータンの都市化の話、ダシヨウ西岡から始まった援助の話など、スライドの写真をしながら話をしていただきました。



平成25年6月7日(金) **会員卓話** L. 下村 明

テーマ「老視眼鏡について」

老視になり始める年代は50歳頃、老視の進行していく年代は50歳～60歳とされています。眼科や眼鏡屋に行くと度をはっきり調整していただきたい。そして、60歳以上になると調節力がゼロになってきますので、よく検査をして自分の目に合った眼鏡を作っていただきたい。老眼は老化現象ですから食い止めることはできません。眼鏡をかけずに無理して見るよりも適当な眼鏡をかけて適度に物を見るようにしたほうが懸命と言えます。とお話ししていただきました。



第59回 334-E地区年次大会

334-E地区の第59回年次大会が5月19日(日)に松本のキッセイ文化大ホールにて盛大に開催されました。駒ヶ根ライオンズクラブからは、8名が出席しました。

本年度当クラブは、グッドスタンディング賞(金)、献血賞、聴覚障害者福祉賞、国際アクティビティ賞の4本を受賞しました。特にグッドスタンディング賞の金賞は県下で1本という大変名誉な賞です。会長スローガンの「絆を大切に・地道な奉仕」に基づきメンバー一人一人の活動が評価された嬉しい1日となりました。



1R2Z 新会員オリエンテーション

3月8日(金)に1R2Zの新会員オリエンテーションが、当クラブのホストにより開催されました。当クラブからは、L. 宮下兼秋、L. 橋田利雄、L. 瀧本好美、L. 白鳥辰江の4名が会員委員長のL. 横山信之の引率で参加し、ZCのL. 浦野英喜、ホストクラブ会長のL. 池上勝洋の挨拶のあと講義に入りました。地区GLT・アラート委員長のL. 小野十九男からはクラブ入会の動機について問われ、元地区ガバナーのL. 所沢千秀からはライオンズ必携の解説をしていただきました。奉仕の心について一層の理解を深めることができました。



マレットゴルフ例会

恒例のマレットゴルフ例会が5月17日(金)に馬見塚公園マレットゴルフ場において多くの会員の参加により開催されました。五月晴れの中、委員会を中心としたメンバーで各々出発し、各コースで好プレー珍プレーの度に歓声があがり賑やかな例会となりました。1時間半ほどで各チームが全ホールを回りましたが、疲れた様子もなく全員にこやかに馬見塚旅館に戻ってきました。続いて行われた表彰式では、優勝L. 浦野英喜、準優勝L. 堀内寿雄、3位L. 下澤正一が表彰され、優勝のL. 浦野英喜のウイサーブで懇親会に入りました。プレーを振り返りながら大いに親睦を深めることができました。皆様お疲れ様でした。



チャーターナイト引き継ぎ同伴例会

6月21日(金)にチャーターナイト同伴引き継ぎ例会が、JAアイバルいなんに於いて開催されました。会長L. 池上勝洋の今年度最後の挨拶の後、各種表彰が行われ、続いて新旧五役のバッチの引継ぎにより全員の見守り中、ここに新役員が誕生しました。新会長のL. 田中一正により新役員、新委員長の紹介があり、新会長の挨拶のあと、前会長のゴングで今期の例会が全て終了しました。懇親会では、前会長のウイサーブのあと、一年を振り返りながら和やかな歓談に花が咲き、会員相互の親睦を更に深めることができました。



新入会員5分スピーチ 4月5日



L. 気賀澤 敬子

聴導犬協会とは10年くらいお付き合いがある。2008年から2年ほど毎日のように協会に通ってボランティアをしていました。ちょうど移転したのでスタッフは本当に目の回る忙しさだったと思いますが、そのときにお手伝いできたことはとても良かったと思います。現在は連日ではなくボランティアをときどきやりながら関わらせていただいています。協会も徐々に地道ながらも伸びてきていると思います。協会でのいろいろな出会いとか、また犬たちの世話というのはとても楽しく今後も続けていきたいと思っています。



L. 岩崎 康男

私は、昭和48年に28歳で中央アルプス観光に入社致しました。その頃はロープウェイが開業した、光前寺があるという中で、40万足らずの観光客しか来ていなかったと聞いております。その後昭和50年に中央道が開通すると70万人、そしてピーク時を迎えた駒ヶ根市には約140万人のお客様が訪れました。現在の長引く不況の中でも120万人近いお客様が駒ヶ根市に来てくださっています。今のこれからの客層、更には台湾インバウンド関係も作りまして観光産業の見通しは明るいとは私は確信致しております。



L. 城倉 寿一

入会をきっかけに社会奉仕にも心が向き、以前から考えていた東日本大震災の災害ボランティアに参加するようになりました。昨年は3回ほど宮城県の小各所に出かけました。日曜日の募集が大半ですので金曜日の朝出発して午後から活動を始め、土曜日1日と日曜日の午前中までが主なパターンです。私はこの活動を通して遠くは大阪や福岡から被災地に集まり名も知らぬ人のために名も知らぬ人が力を合わせ、汗を流すその姿に熱いものを感じております。これからも時間を作って参加し続けたいと思っています。



L. 堀内 秀

私も駒ヶ根出身ですが、久しぶりに駒ヶ根に帰ってきて約1年経ちましたが、その山は景観が素晴らしく改めてこの駒ヶ根市の良さというものを実感しました。ずっと住んでいる皆さんには当たり前のことですが、私の友人も中央アルプス、南アルプス両方の景観が見られるというのは本当に素晴らしいと言っております。駒ヶ根LCの皆さんには50周年ということで電気自動車をいただけることになりましたので、市長と私も一緒に使わせてもらおうと思っております。今後も皆さんと一緒に頑張りたいと思っています。



L. 白鳥辰江

フェイスブック中に「癒しと笑い感動のページ」という内容があります。そこには高倉健さんやイチローなどの有名な方の発言や詩などが載っていましたが、その中の「言葉を言い換える」という詩にとっても感動しました。過去の人生経験の中で、苦しい時に言葉で傷つけられたり、逆に言葉で救われたりとか感謝とかがありまして、そういう人生の中において言葉を言い換えるということに感動しましたので、今それを読ませていただきたいと思います。その後、詩を朗読していただきました。